

ブックちゃんの

2016年6月17日

ふじのみや探検

まつ
第19号 富士宮の祭りのひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

ひみつ1

まつ 祭りってなに？ どんなことをするの？

「まつり」とは、もともとは神を祀ること、またはその儀式をさすものであるといわれています。この意味では、個人がそういった儀式に参加することも「まつり」であり、おひなさまをかざったり、こいのぼりを立てたりして子どもの成長をいのちたりすることや、正月に年神さまをむかえるために、お飾を玄関につけ、かがみもちや正月料理をそなえることなどは、家庭の祭りであるといえます。

多くのばあい、祭りは、神社や寺院でおこなわれることが多いのですが、どんど焼き、豆まき・節分、たなばた、お盆行事なども、昔からおこなわれている地域や家庭の行事であり、祭りです。それらは、「五穀豊穰」をはじめ、「商売繁盛」、「無病息災」、「家内安全」、「夫婦円満」、「子孫繁栄」、「天下泰平」など、人びとの安全や幸福を願っておこなわれています。

富士宮市には、神社や寺院でおこなわれる祭りや、〇〇まつりとよぶイベントをふくめ、祭りがたくさんあります。

その中で長い歴史と伝統をもつものとして、浅間大社でおこなわれる流鏝馬祭（5月4～6日）、御田植祭（7月7日）、秋祭り（11月3～5日）などがあげられます。

浅間大社秋祭りでは、大社周辺の各区から参加する氏子（区民）のみなさんが、20台の山車や屋台を引き回しねり歩きます。山車や屋台の上で演奏される富士宮ばやしは、静岡県の無形民俗文化財に指定され、競り合いが一番の見どころとなっています。競り合いとは、出会った山車、屋台がお互いに激しく富士宮ばやしを演奏し合うものです。山車や屋台をきれいに飾りおはやしを演奏してにぎやかにする

のは、神さまへのおもてなしです。人々は、神さまが病気などの不幸をおいはらい、幸福をもたらしてくれることを期待しました。また神さまによろこんでもらうために、おどりや流鏝馬などをおこない、神さまに見ていただきました。



祭りの山車

◇ことばの説明

儀式…まつりやいわいごとのときに、あるきまりにしたがっておこなう作法。

年神…正月に家々でまつる神。その年の実りと幸せをもたらすために、高い山から降りてくると考えられている。

氏子…同じ氏神にまもられてその土地にすんでいる人びと。氏神は、その土地やそこに生まれた人々を守る神。

山車や屋台…神社のまつりのときにでる、きれいにかざった車。車の上で、鉦・たいこをたたいたり笛をふいたりおはやしを演奏する。山車は、屋台の上に人形などを飾ったもの。

ひみつ2

やぶさめ 流鏝馬祭りは どんなことをするの？

みなもと^のよりとも 源 頼 朝 が富士^の巻狩^りをした時、富士山^本宮^浅間
大社^に流鏝馬^を奉納^{した}ことから流鏝馬祭りが始まった
と伝わります。浅間大社の伝統的な流鏝馬とは別に昭和
29年ころから小笠原流^の人たちの力をかりて流鏝馬を
おこなうことになりました。小笠原流の人たちのおこな
う流鏝馬を「神事流鏝馬」、昔^{から}伝わるものは「古式流
鏝馬」とわけて呼んでいます。

神事流鏝馬は、人が馬にのって約150mの馬場をかけぬ
けながら2つのまとを射る武芸です。第1のまとに矢を
放ち、さらに第2のまとまでの間に次の矢を準備して矢
を放つ技がみものです。走っている馬をあやつりながら、
矢を放つことはたいへんむずかしいことです。



古式流鏝馬は、矢を射る人が馬にのり、止まったまま
天地、東西南北の方角に矢を放ち、平安と繁宮を願う
「行い」と呼ばれる儀式をおこないます。

昔から伝わっている人びとのくらしぶりとも関係のあ
る行事であり、平成18年に、富士宮市の無形民俗文化財
に指定されました。

◇ことばの説明

巻狩り…イノシシやシカなどがいる場所をおおぜいで
四方から取り囲み、囲いをせばめながらえものを追い
つめて射止める大規模な狩り。

流鏝馬…走る馬上からまとに矢を射る技術・稽古・儀式
のこと。

ひみつ3

秋祭りがさかなわけはなに？

神事としての秋祭りは1200年の歴史があります。
江戸時代のおわりころから山車や屋台をひきまわす祭
りが始まりました。

富士宮ばやしは、明治時代に沼津の根古谷から
指導者を招いて技をみがいたと伝わります。



秋祭りは、山車や屋台で演奏する富士宮ばやしの競
り合いがみどころです。区ごとの山車や屋台が互いに
演奏を競い合い、勝ち負けをきめます。せまい道では、
この富士宮ばやしに競り合って負けた方が道をゆずる
きまりになっていましたが、現在はすべて引き分けと
しています。競り合いに勝った方は、「昇殿」という
曲を誇らしく演奏します。

このように演奏を競い合うことで、富士宮ばやしを
演奏する技能が向上し、祭りに向かう姿勢が高めら
れてきました。

◇ことばの説明

富士宮ばやし…笛、鉦、太鼓などを使って、歩く時は
「道囃子」・「通囃子」・「宮まいり」、山車や屋台を引
く時は「にくずし」・「屋台」・「昇殿」などの曲目が
演奏されます。

ひみつ4

「富士山まつり」って なに？

ひより 芝川日和、富士山お山開き、富士山御神火まつり、宮
おどり大会、富士の巻狩りまつり、陣馬の滝まつりなど
富士宮市で年間に行われる行事や祭りを「富士山まつり」
として一つにまとめた呼び名です。



富士山お山開きは、富士山の山開きにあたり、安全を
祈願する祭りです。富士山御神火まつりは、御神火をみ
こしにのせてかつぎ、市内をパレードしたり神田川をの
ぼったりします。

宮おどり大会は、平成4年、市制50周年を記念して
つくられた宮おどりなどを、市内の小・中学生をはじめ
各種団体が神田通りや宮町通りでおどります。

陣馬の滝まつりは昭和59年、富士の巻狩りまつりは
平成元年にはじまり、共に源頼朝による巻狩りをテーマ
にした武者行列や太鼓の演奏などをおこないます。



陣馬の滝まつり

ひみつ5

魅力あるまつりにするために

おだのぶなが 織田信長の首を本能寺から運び出し、にしやまほんもんじ おき
西山本門寺に納
め、そこにくびづか 首塚を築き、きざ ヒイラギを植えたとする言い伝
えにもとづき、織田信長のくよう 供養をするのぶながこうこうよう 信長公黄葉まつり
が、平成12年から始まりました。

織田信長を供養するだけでなく、多くの人たちが観光
として来てくれることを願ってこの祭りが企画されまし
た。そのためには、全国各地でかいさい 開催されている「信長ま
つり」を参考にしたそうです。そうした調査から、わだいこ
の演奏、むしやぎようれつ ひなわじゆう えんぶ 武者行列や火縄銃の演武がはじまりました。

特に、火縄銃の演武は、ごうかい 裂音をとどろかせだい
はくりよくです。この演武は、信長公が火縄銃を使って
ただたぐん やぶ 武田軍を破ったとされるながしの たたか 長篠の戦いなどにちなんだも
のでしょう。その火縄銃を、じっさい 実際に見せる演武は、
この祭りの中心になっています。



また、西山本門寺の参道に「楽市楽食」として県内
外から多くのグルメ店が並び、お祭りを見にきた人は食
ぶんか 文化を楽しむことができます。

さらに、富士宮駅から無料シャトルバスをだし、おお
ぜいの人々がまつりを見に行くことができるように工夫し
ています。

◇ことばの説明

くよう 供養…死んだ人の幸せをいのること。

きんど(しめ太鼓) 2人、おおど(長胴太鼓) 1人、笛(篠笛) 1人、鉦(あたり鉦) 1人の五人ばやしです。基本のリズムはきんどがつくり、おおどはかん急をつけながら演奏します。笛はメロディーをふいて全体をリードしながら、曲のきりかえや終了を合図します。鉦の役割は、きんどといっしょにリズムをつくりませんが、競り合いのときに、相手の演奏のリズムをくるわせるために、相手の山車や屋台に近づいて演奏します。



きんど



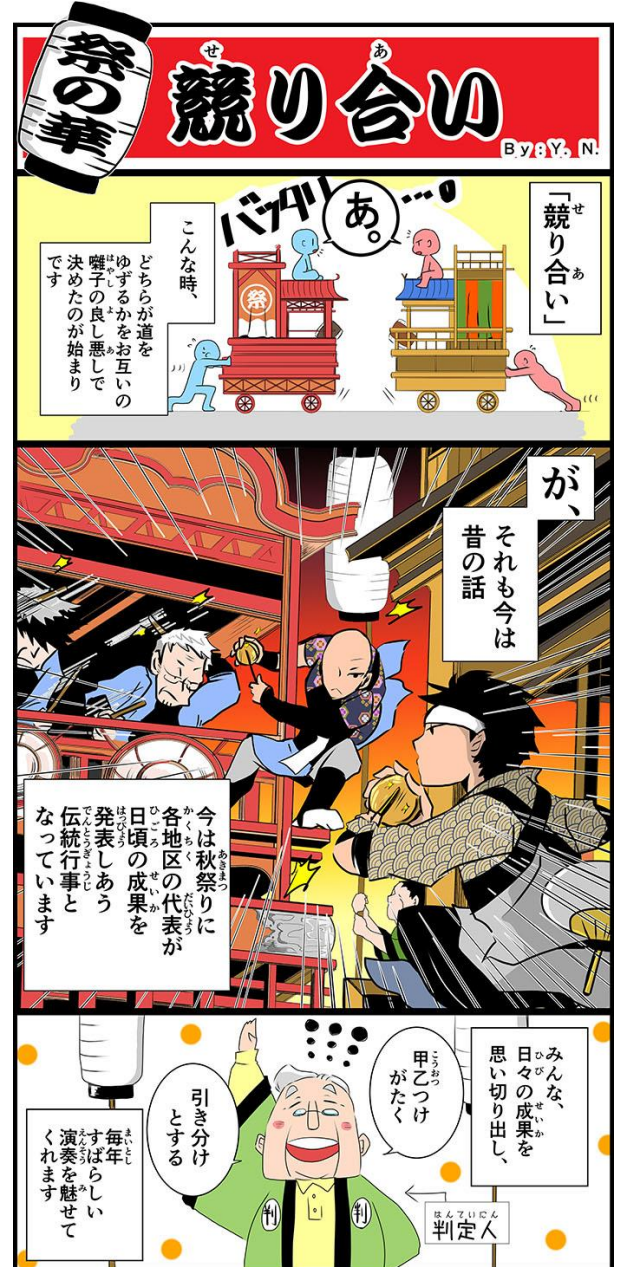
おおど



鉦



笛



◇『第19号 富士宮の祭りのひみつ』は、次の資料をもとに作りました。

- 1 『祭りのこころ』 倉林正次／おうふう 2002
- 2 『日本の祭りがまるごとわかる本』 芳賀日向／晋遊舎ムック 2013
- 3 『富士山本宮浅間大社流鏝馬調査報告書』 富士宮市教育委員会／ 2007
- 4 『富士宮ばやし 富士宮市郷土資料館報告書第7号』 富士宮市教育委員会／ 1994
- 5 『富士宮 秋まつりの人びと-平成15年聖心女子大学文化人類学調査報告書-』 聖心女子大学／2003
- 6 『富士山本宮浅間大社 秋の例大祭富士宮まつり』 秋まつり青年協議会／フジ印刷 2012
- 7 『神田区誌』 神田区 / フジ印刷 2000
- 8 『日本の祭り』 菅田正昭 / 実業日本之日本社 2007
- 9 『くらしと祭り百話』 小野迪夫 / 神社新報社 1994
- 10 『神輿大全』 宮本卯之助監修 / 誠文堂 新光社 2011